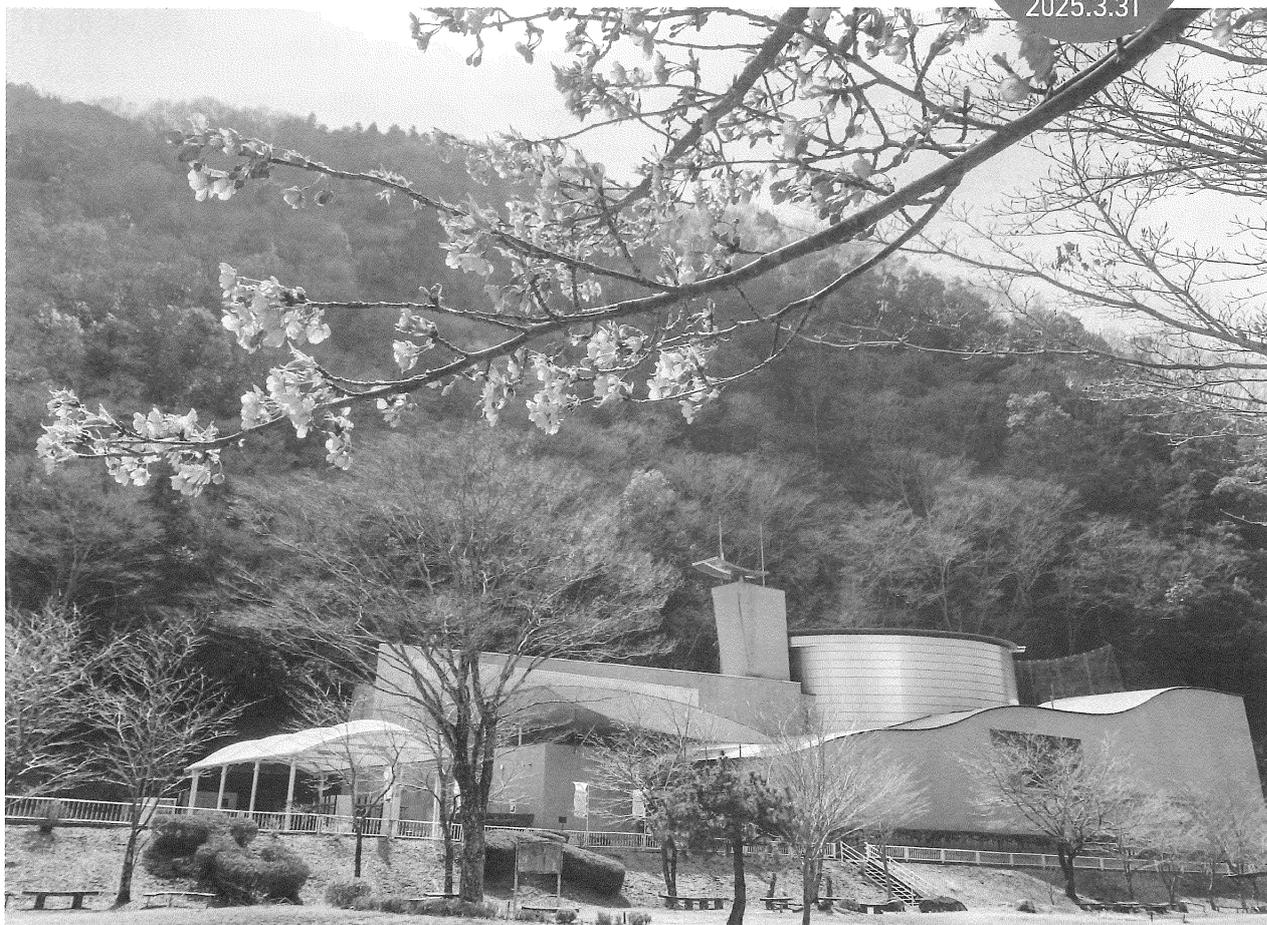


# 甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡一中山金山

No.111

2025.3.31



## 令和6(2024)年度入館者が過去最多、 年間27,000人超え達成!!

年度末も迫った3月、当館の年間入館者数が過去最多を更新し、約28,000人(累計入館者数は51万人超)となりました。これまで年間平均18,000人~2万人をキープし、前年度の22,055人が最多でしたが、これをさらに5,000人上回るのは驚異的といえます。

当館では、館公式HPやSNS更新、本誌『博物館だより』など、あらゆるメディア媒体を活用し広くニーズに合わせた情報発信を日々行っていますが、その情報を得て来館されたお客様が「来てよかった、楽しかった」と感じる“博物館づくり”が重要なのです。

さて、この記録はそう簡単に超えられるものではありませんが、目標は高く、より多くのお客様が快適な時間を過ごしていただけるよう、気持ちのいい挨拶や心掛け、来る新年度も館運営に取り組んでいきます。

# 「甲府」の「府」と「甲陽」の「陽」について

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 信藤祐仁

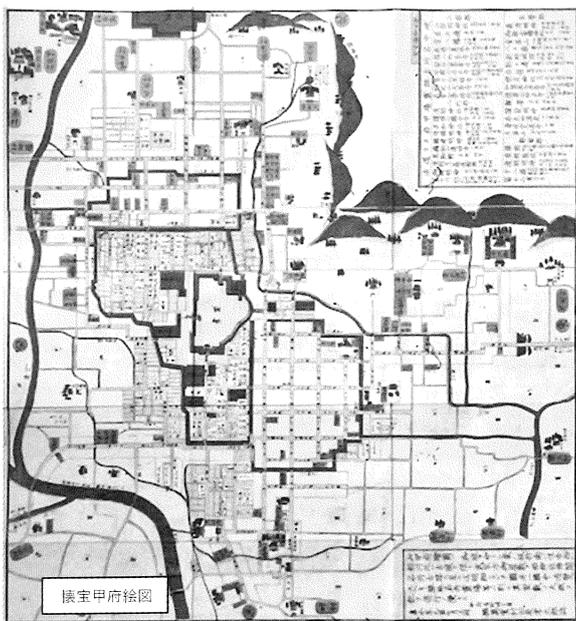
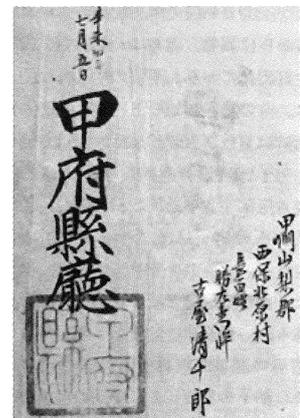
「甲府」の地名は、「甲斐国府中」の省略形です。甲斐は山梨県の旧国名であり、「府」は役所や政庁を意味する言葉です。律令時代には、一国の政庁の所在地を「国府」、「府中」、「府内」などと言って、それが中世になって守護大名の所在地とそこに形成された町のことも言うようになりました。「駿河」の国府を「駿府」（静岡市）、信濃の国府を「信府」（松本市・奈良時代後期に上田から信濃国府が移転）、長門の国府を「長府」（下関市）と言うように、国名の後に「府」を付けてヒトやモノが集まる場所、政治・経済・文化の中心地を呼称するようになりました。甲斐の府中は、元は笛吹市域にあり旧春日居町の「国府」、旧一宮町の「国分」、旧御坂町の「国衙」がその遺称とも言われています。

を新府中の「甲府」と呼んだとされています。以後、武田氏館から甲府城（甲斐府中城）にその拠点が少し南に移動し、



甲府城下町の範囲も拡大しますが、「甲府」の地名はそのまま現在まで使われています。

江戸時代から明治時代が変わり、大政奉還後に明治政府が幕府直轄地のうち奉行が支配した土地や開港した港などを「府」、代官の支配地を「県」と称しました。明治政府は特に重要な拠点を「府」として直接管理し、江戸府、神奈川県、大阪府、長崎府、箱館府などと並んで「甲斐府」が置かれました。「甲斐府」は翌年「甲斐県」、明治3年「山梨県」に改称されました。県名の変遷には、明治政府の特別な思惑があったと言われています。



信玄の父武田信虎が川田館（石和館）から躑躅が崎（現武田神社境内）に館を移したことによって館の南に城下町が形成され、これ

「甲斐」の国名は、「甲陽」とも呼ばれます。「甲陽」は甲斐国の美称で、「陽」の漢字は、陽の当たる場所、明るい場所や陰陽と対比してプ

ラスとか暖かいといった意味があります。『甲陽軍鑑』や『甲陽日記』、『甲陽随筆』など戦国時代から江戸時代の資料においては、この「甲陽」を「甲斐」の別称として使用されることが散見します。「信陽」も「甲陽」も、旧国名のはじめの一字の後につけて美称として用いられたものです。同じように例をあげると「武蔵」が「武陽」、「紀伊」が「紀陽」、「常陸」が「常陽」などとして使われており、現在でも地銀の銀行名や学校名、地域に根差す会社名などにご当地を意識した名称として使用されています。旧国名の後ろの一字をとっても、「出羽」の「羽陽」、「出雲」の「雲陽」のようにも用いられている例があります。



『甲陽軍鑑』は、戦国武将武田信玄・勝頼時代の軍事・戦術を江戸時代初期にまとめられた軍学書です。「金」についての記述も多く、山梨県立博物館の海老沼真治氏が『『甲陽軍鑑』における金の使用事例』としてまとめられています。河原村伝兵衛に陣中における戦の褒美として信玄自身の手から「ごいし金」を三すくい与えたとした記述、清白寺（山梨市）への供養・祈祷料として「金子廿両もたせ」遣わした記述、「金銀」を褒美としての下賜することや町人が蓄財に用いている記述、曲淵庄左衛門の訴訟で贈答品を送らなかったから負けたのだと言ったことに対し奉行人の桜井が「金銀・米銭」を車に積んできたとしても理が無ければ負けであると言いつつ放った記述などに見られます。



▲仏国寺（甲府市）の甲府勤番士の墓

江戸時代に柳沢氏が甲府藩の藩主から大和郡山藩に転封以後、甲斐国は江戸幕府の天領（直轄領）になり、ここに勤めることになった甲府勤番士たちは「甲陽勤士」ともいわれました。彼らの仕事は甲府城の守備警護や甲府城下の行政や治安を司り、大手・山手の二班の勤番支配のもと体勢総勢 200 人が新たに江戸から送り込まれてきました。彼らは旗本の次男坊三男坊が主で、ひとたび辞令が下ると一生江戸には帰れないとされ、「山流し」として当時から揶揄され、左遷組の代表格として悲嘆にくれたそうです。前述の曲淵庄左衛吉景とその子息彦助は武田家滅亡後に徳川家康に従い、天正壬午の乱や関ヶ原の戦いで活躍、子孫は徳川幕府でも要職についています。吉景から五代目にあたる景衡は徳川家宣に仕え、享保 10 年（1725）に追手の甲府勤番支配となっています。勤番支配は勤番士のトップで、職制上は老中配下で遠国奉行の筆頭であり、駿河城代と並ぶ地位でありました。出世を遂げた景衡は、祖先の館跡であり墓のある昭和町の本妙寺に配下の武将 170 騎を従えて参拝を果たしています。



信濃館長によるブログ  
「シン・ドウノヘヤ」は  
こちら▶



## ■ 調査研究活動 01 古文書教室 佐渡小判所に関する文書を読破

当館では、地域に残された文書を地元住民自らで読み解き、歴史を知る力をつけることを目標に、金山や鉾山を中心題材とした古文書教室を開催しています。当館の運営委員でもあり、甲州金研究をはじめ地域史料調査など広くご指導いただいている西脇 康先生に講師をお願いし、月1回のペースで町民の学びの場を開設しています。

現在、教室で読解に取り組んでいるのは『筋金砂金小判ニ仕立方仕法大概書』という江戸中期の佐渡金銀山での小判製造や鉾山作業を記した鉾山技術書です。この史料は西脇先生が入手された個人蔵のものです。佐渡金銀山については、江戸幕府を支えたわが国代表の金山というだけあって、多数の絵図史料や鉾山技術書が確認されています。近年、鉾山絵巻をはじめ比較的研究が深まりつつありますが、この史料の翻刻は未着手ということもあり、完全読解は大きな意味があると考え、教室の生徒全員で読解翻刻に着手となりました。



### 『筋金砂金小判ニ仕立方仕法大概書』ってどんな文書？

- ・江戸時代（1830年代）に成立した佐渡金銀山に関する鉾山技術書の写本
- ・史料巻末に鉾山道具の絵図史料掲載あり
- ・佐渡金山銀山の代表的史料『<sup>ひとりあるき</sup>飛渡里安留記』と類似内容ではあるが表現内容が若干異なる

そうしたなか、現在確認されている代表的な佐渡金銀山の同様な史料と比較すると、本史料そのものの書かれた時代が少々古いこと、また同じ作業でも表現や内容が時代によって少しずつ変わってくることも分かってきました。これらを受けて、読解や翻刻がなされている史料と比較することで、鉾山史における新たな歴史事実が解明される可能性も見出されました。

約3年をかけて40ページにも及ぶ史料の読み解きが一区切りとなり、この成果は博物館研究紀要17の『金山史研究』にて翻刻・解題・解説文掲載しますので、『金山史研究』発刊のお知らせをお楽しみに。

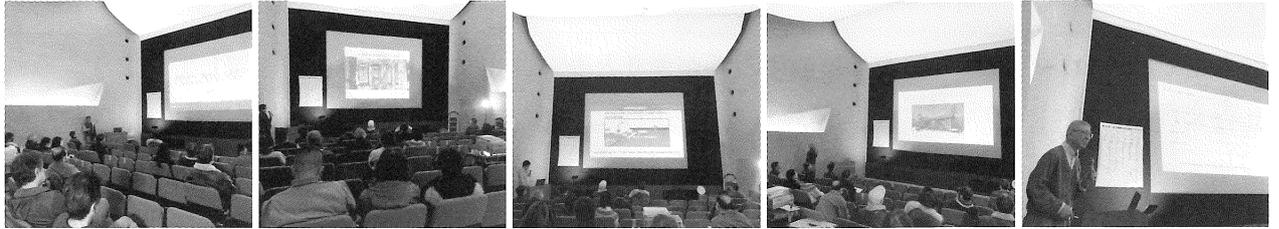
## ■ 調査研究活動 02 3/14 ⑤ 資源・素材学会 春季大会 於 千葉工業大学

小松・伊藤両学芸員は、資源・素材学会の鉾山史部門において、春と秋の年2回、当館における調査研究活動の現況を発表しています。去る3月14日に開催された春季大会（於千葉工業大学）では、「筋金砂金小判ニ仕立方仕法大概書」についての翻刻読解完了の報告と、古文書教室を通じた当館での史料読み解きについての事業成果を、小松学芸員が報告しました。



## ■ 活動報告 01 2/1 ⊕ 第 13 回 金山遺跡・砂金研究フォーラム

金山博物館を拠点に展開するフィールドワークの経験や体験、疑問点などをテーマに「博物館応援団 Au 会」のみなさんが企画・開催する研究発表会。今回は東京都内で産出した砂金の報告、中世の砂金産地と寺院の調査、砂白金の年代測定、北米の産金地の探訪記、金鉱脈を発見した後の活用方法についての口頭発表とポスター発表がありました。町内外から約 30 人の聴講者が集まり、質疑応答では活発な意見交換が行われました。

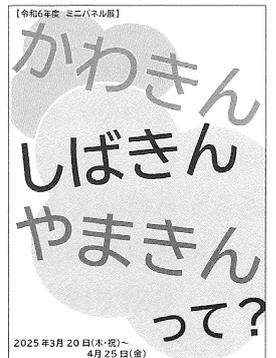


## ■ 活動報告 02 ミニパネル展「かわきん しばきん やまきんって？」開催中！

江戸時代の鉱山用語「やまことば」の「川金」、「柴金」、「山金」をテーマにミニパネル展を開催しています。

山金は鉱脈金であり、露頭から地下へと採鉱されるもので、川金は、現在の川にある砂金です。柴金は草木地や田畑の地下の砂礫層にあり、もともと河川であった場所の砂金を含めたもののことをいいます。当館で紹介している湯之奥金山は戦国～江戸初期に栄えた「山金」の遺跡です。なかなかなじみのない鉱山の言葉に触れる機会としてぜひご覧ください。

※当館 1 階エントランスにて。観覧無料



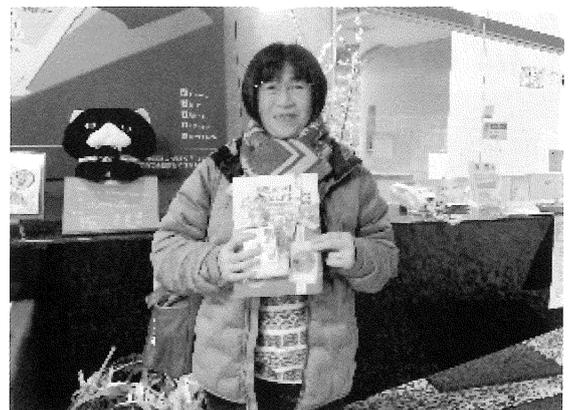
## ■ 活動報告 03 「きっかけ×デザインラジオ」で特集していただきました

山梨の「文化」や「歴史」のルーツを発掘するラジオ番組「きっかけ×デザインラジオ」(YBS ラジオ)に小松学芸員が出演しました。取材はパーソナリティーの白井さんと村松さんが直接来館し、出張収録で行われました。『山梨と金』をテーマに、当館や湯之奥金山をはじめとする甲斐金山について1日をかけ取材していただきました。毎週月曜日に15分ほどの枠で計4回の放送があり、来館の方からも反響をいただきました。

## ■ トピックス 01 2/2 ⊕ 51 万人目のお客様をおむかえしました

昨年6月に49万人目、8月に50万人目と、すでに2回の記念入館者をむかえているなか、2月に51万人目のお客様をおむかえできました。1万人目ごとの記念セレモニーを年間で3回実施するのは開館史上初。令和6年度はこれまでを大きく上回る勢いでたくさん方にご利用いただいています。今回、記念入館者となったのは静岡県富士宮市からお越しの近藤さん。記念品として当館の展示図録と陶器製の金彩もーん父さんをお贈りしました。

51万人目の近藤さんを含め、これまでの記念入館者の写真は売店壁面で掲示しています。



## ■ トピックス 02 博物館の部局編成が変わります

当館は身延町立の公営博物館です。そのため、町の人事異動・部局編成変更にともない当館の担当名が変わります。連絡先などは特に変更はありませんが、これまで生涯学習課の棟で勤務していた文化財担当職員も令和7年度から博物館勤務となります。

身延町教育委員会 生涯学習課

<これまで>

文化財担当

金山博物館担当

<令和7年4月～>

文化振興担当

## ■ 峡南地域の古文書を探しています

当館では、金山や地域の歴史を解明する手がかりとなる「古文書」を引き続き探しています。

古文書は、かつての地域とそこに暮らす人々のようすを今に伝える貴重な史料です。しかし、廃棄してしまった、燃やしてしまった、売買したなど、長い年月の間に散逸し、歴史が埋もれてしまうケースが少なくありません。地域の歴史を未来に伝えていくためにも、今一度、ご自宅をご確認いただき、お心当たりがありましたら博物館まで情報をお寄せください。ご協力をお願いいたします。

## ■ 砂金採り体験室 小ビンのリサイクル実施中！ご協力お願いします

鉱山作業「汰りわけ」を実体験できる砂金採り体験は、当館人気メニュー。

子どもから大人まで幅広く楽しんでいただいています。体験リピーターも増加傾向で、それに伴い小ビンの使用率も右肩上がり。そんななか「空きビンがたくさんあるから持ってきていいですか？」という質問も多くいただきます。実は、昨今の原材料費高騰のため製造が追いつかず、当館体験室ではこの小ビン不足が深刻となっています。そこで！当館では、お家で不要になった砂金採り体験室の小ビンのリユース活動へのご協力を呼びかけています。体験室カウンター脇にBOXを設置しています。みなさまのご協力をお願いいたします。



## ■ もーん父さんトピックス

### 交通安全の友！「もーん父さんリフレクター」が仲間入り

クリアファイルやボールペンのステーショナリーからTシャツ・靴下・トートバッグのファブリック類まで、幅広いラインナップのもーん父さんグッズに新アイテムが仲間入り！

お出かけのみんなが帰ってくるのを窓辺で待つキュートなもーん父さんが描かれた「リフレクター」です。町の交通安全大使でもあるもんちゃんからのメッセージ「みんなのごぶじをまってるね☆彡」



### ■ 4月のもーん父さんスケジュール

#### ☆ 4/4 (金) 春の交通安全運動

町の反射材大使のもーん父さん。今春も身延駅と飯富駐車場で通行のみなさんに交通安全を呼びかけます。身延駅は7時半頃～、飯富駐車場は10時～の予定です。

#### ☆ 4/6 (土) 第44回 大法師さくら祭り マスコットキャラクターグリーティングイベント

午後3時ころから富士川町公式キャラクターのゆずにゃん、市川三郷レンジャー、みのワン、やはたいぬたちとグリーティングを行います。 詳細は富士川町公式HPからご確認ください▶



#### ☆ 4/20 (土) 開館28周年！館内グリーティングイベント

開館記念日をひかえた日曜日、写真を撮ったり、砂金採り体験の指導をしたり、お話ししたりとゆるりと開催です。

## ■ 博物館開館カレンダー 令和7年4月～令和8年3月

令和7年度の開館カレンダーです。ご来館の際にはお間違えないようお越しください。なお、最新情報は当館 HP でのご確認をお願いします。

※■は休館日

<b>4 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							<b>5 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							<b>6 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							<b>7 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31						
<b>8 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							<b>9 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							<b>10 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							<b>11 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30						
<b>12 2025</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							<b>1 2026</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							<b>2 2026</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28							<b>3 2026</b> 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31						

### スタッフ募集のお知らせ

令和7年4月～令和8年3月までの会計年度任用職員を随時募集しています（延長あり）。  
 詳細につきましては当館へお問合せください。

## しもべ黄金の足湯 使用中止のお知らせ

令和7年3月10日(月)～5月上旬まで

いつも「しもべ黄金の足湯」をご利用くださりましてありがとうございます。2011年2月のオープンからたくさんの方に親しんでいただきました「しもべ黄金の足湯」ですが、このほど、給湯に関わる埋設配管に経年劣化に伴う修繕箇所が確認されました。つきましては、緊急修繕工事実施のため足湯のご利用を休止させていただきます。

足湯ファンや博物館ご利用のみなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。なお、復旧の際は、当 HP 及び身延町 HP にてお知らせさせていただきます。

※博物館駐車場への進入路を横断している箇所の工事となります。工事関係者も騒音・振動の抑制に努め安全第一で作業を進めてまいります。駐車場へ向かう敷地内におきまして徐行をお願いするとともに、お客様方のご解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

■ これからのイベント情報

第4回 シン・サンポ「切石地区編」

要申込

- ・日 時：4月20日（日）午前9時身延町役場本庁舎駐車場に集合・正午ころ解散  
※お車は役場本庁舎駐車場にお停めいただけます
- ・参加費：無料（施設などを利用する場合の費用は自己負担）
- ・持ち物：お散歩しやすい歩きやすい服装で、天候により雨具類を携行ください

ゴールデンウィークは金山博物館へ行こう！

日	月	火	水	木	金	土
4/27	28	29	30	5/1	2	3 憲法記念日
通常開館	通常開館	通常開館	休館日	通常開館	通常開館	通常開館
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	←	
通常開館	通常開館	通常開館	休館日	通常開館		

—— ゴールデンウィーク期間 →

- ★ 5/5（月）こどもの日限定「こどもくじ」。すてきなプレゼントゲットのチャンス！  
※チケットご購入の小学生以下のお子さま限定。1人1回まで。なくなり次第終了
- ★ G.W 特典！3～6日までの4日間は、砂金採り体験水槽の天然石&純銀粒が平時より増量！
- ★ 1分間で一番多く砂金を採ることができるのは誰だ！好評の不定期開催ミニゲーム「ハイスピード砂金採り」

初の試み！みのぶ町民 砂金掘り大会

要申込

- ・日 時：6月22日（日）午前10時集合・11時解散
- ・場 所：博物館1階 砂金採り体験室
- ・定 員：30人（小学生以上～）
- ・参加費：町民のどなた様も、お気軽にご参加いただけるよう参加無料ですが、大会で採った金は返却とさせていただきます
- ・持ち物：身延町にお住まいであることを示すもの  
必要に応じてタオル・着替え
- ・お申込：博物館へお電話・または窓口にて



～参加者全員に砂金1粒入り☆記念しおり&博物館オリジナルクリアファイルプレゼント～

編 | 集 | 後 | 記

春は別れと出会いの季節。当館もこの春巣立つスタッフがいます。一緒に博物館活動を盛り上げてきただけに寂しさもありますが、新天地での活躍を願ってエールを送りたいと思います。もちろん、館スタッフも負けてはいられません！ご利用のみなさんに楽しい時間を過ごしてもらえよう頑張ります。（編集 K & I）

甲斐黄金村・  
湯之奥金山博物館だより

第111号  
令和7（2025）年3月31日

発行 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館  
〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先  
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003  
博物館HP▶<https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>  
E-mail▶[yunoking@town.minobu.lg.jp](mailto:yunoking@town.minobu.lg.jp) もーん父さん▶X & Facebook

